

令和7年1月24日

調査統計課
直通：092-643-3186
内線：2771
担当：中川

福岡市・北九州市の消費者物価指数（令和6年平均）

総合指数は、令和2年を100として

福岡市は108.2（前年比3.1%上昇）

北九州市は109.3（前年比3.4%上昇）

1 令和6年平均消費者物価指数の概況

総合指数は、令和2年を100として福岡市は108.2で前年比3.1%の上昇、北九州市は109.3で前年比3.4%の上昇となった。全国は108.5で前年比2.7%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は、福岡市は107.4で前年比2.8%の上昇、北九州市は108.5で前年比3.1%の上昇となった。全国は107.9で前年比2.5%の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は、福岡市は107.0で前年比2.6%の上昇、北九州市は108.0で前年比2.9%の上昇となった。全国は107.0で前年比2.4%の上昇となった。

図1 消費者物価指数の年別推移

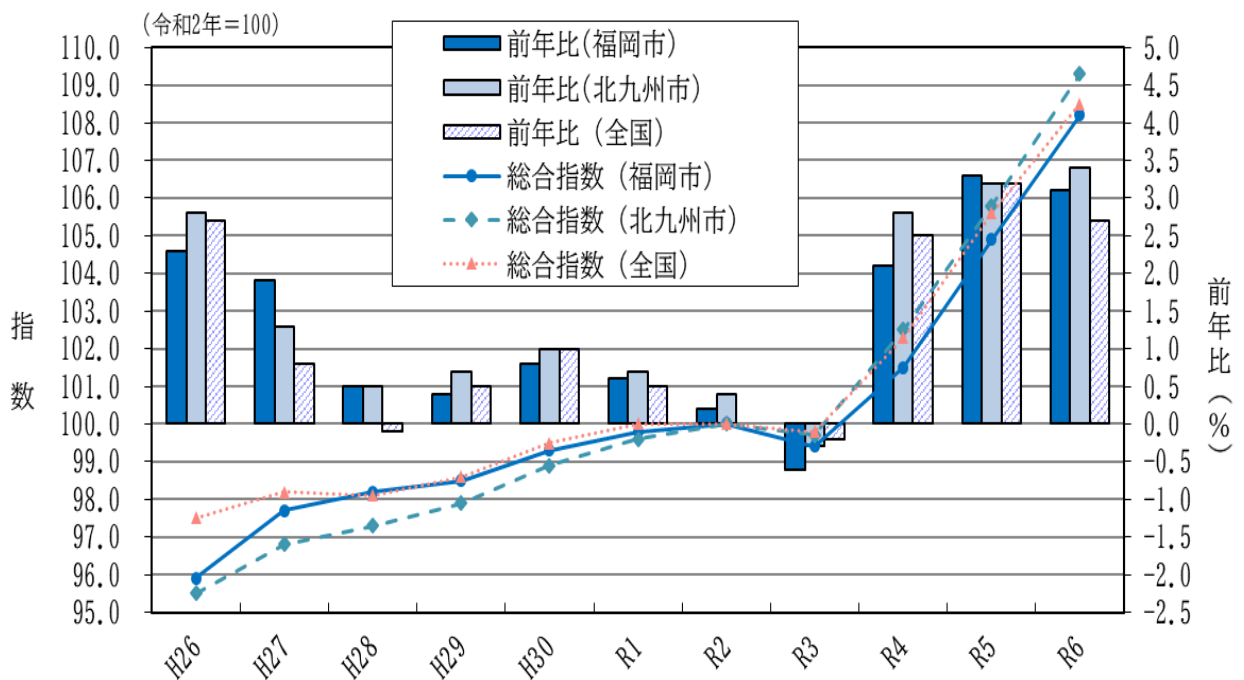


表1 変動に寄与した項目（中分類）

	上昇項目			下落項目		
	主な項目	寄与度※	前年比 (%)	主な項目	寄与度※	前年比 (%)
福岡市	1 自動車等関係費	0.43	4.2	1 履物類	-0.05	-8.0
	2 教養娯楽サービス	0.35	5.8	2 ガス代	-0.02	-1.0
	3 野菜・海藻	0.34	11.5	3 シャツ・セーター類	-0.02	-3.1
北九州市	1 自動車等関係費	0.48	4.8	1 通信	-0.03	-0.9
	2 野菜・海藻	0.38	11.5	2 ガス代	-0.01	-0.6
	3 電気代	0.36	11.4	3 シャツ・セーター類	-0.01	-1.8

※ ある品目又は類の指数の変動が、総合指数の変化率にどの程度影響を与えたかを示したものの。また、各寄与度は、総合指数の前年比に対するもの。

2 月別の動向

総合指数は、(全国)・福岡市・北九州市とも9月に一旦下落に転じたが、全体的に上昇基調となっている。

令和6年各月の前年同月比は、(全国)・福岡市・北九州市とも年間を通して前年を上回っている。

図2 消費者物価指数の月別推移

(令和2年=100)

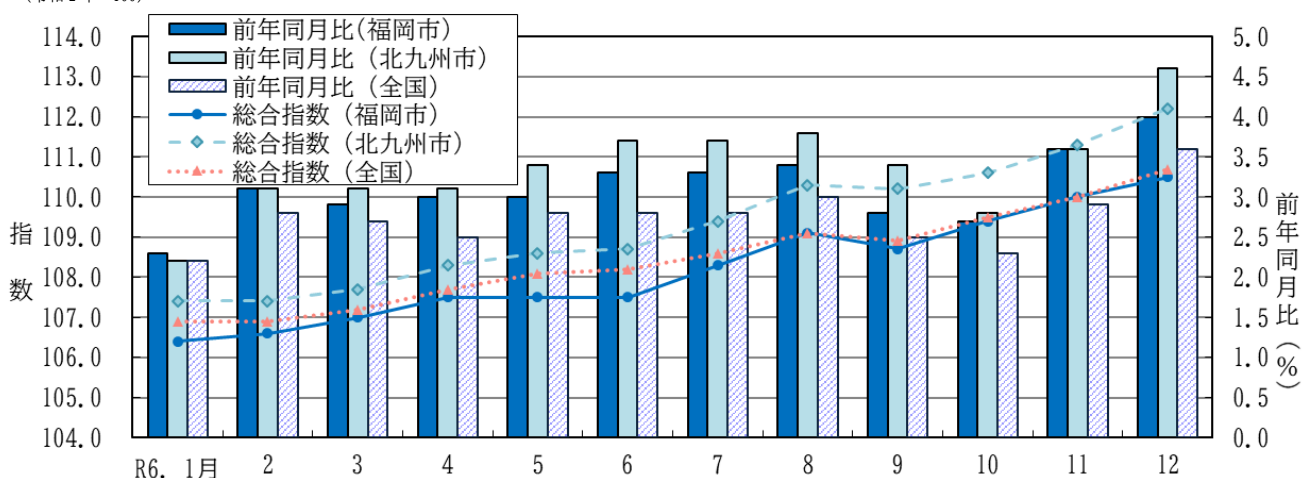


表2 令和6年消費者物価指数及び前年同月比

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福岡市	総合指数	106.4	106.6	107.0	107.5	107.5	107.5	108.3	109.1	108.7	109.4	110.0	110.5
	前年同月比(%)	2.3	3.1	2.9	3.0	3.0	3.3	3.3	3.4	2.8	2.7	3.6	4.0
北九州市	総合指数	107.4	107.4	107.7	108.3	108.6	108.7	109.4	110.3	110.2	110.6	111.3	112.2
	前年同月比(%)	2.2	3.1	3.1	3.1	3.4	3.7	3.7	3.8	3.4	2.8	3.6	4.6
全国	総合指数	106.9	106.9	107.2	107.7	108.1	108.2	108.6	109.1	108.9	109.5	110.0	110.7
	前年同月比(%)	2.2	2.8	2.7	2.5	2.8	2.8	2.8	3.0	2.5	2.3	2.9	3.6

3 10大費目別の動向

各費目の前年比のうち、「食料」「光熱・水道」「教養娯楽」が福岡市・北九州市とも、大きく上昇している。他の費目についても全体的に上昇している。「食料」の上昇については、原材料費や物流費の値上がり、円安等様々な要因が重なったことによるものと思われる。

図3 10大費目別の前年比

